

# チェックリスト(水害対応編)

作成:災害救援レスキューアシスト

項目	説明	確認チェック
被害状況の写真撮影	被害の状況や床下の状況等がわかる写真を撮る(写メでOK)	
罹災証明書	罹災証明書の申請はしているか確認	
家の状況を確認	床上浸水か、床下浸水か確認	
	床上浸水の場合、床から何センチくらい浸水しているか確認	
家の資材の様子を確認	一見乾燥して見えても、見えない部分で湿っている部材がある。床、壁、天井、柱、畳、断熱材などの状態、濡れた家財の有無をできる範囲で確認	
水が残っているか確認	床の下や壁の裏に水が残っている可能性がある。できる範囲で確認 <確認方法> 床下:畳を上げる、点検口や床下収納から覗き込む、外の通気口から覗き込むなど 壁裏:コンセントのふたを外し確認(電気のコンセントがある場合は危険なためやらない)など	
困りごと	どんな対応を望んでいるか希望を聞く(泥だし、家財出し、水が残っているかの確認、今後の対応相談など)	
気づき	住民さんからの困りごと以外に気づいたことを記入(要望されていない寝室も浸水被害にあっていたりなど)	
家の所有	持ち家か賃貸か 賃貸の場合、大家さんの許可が必要になる(大家さんは解体したいが住民は住み続けたいなど複雑な希望が出る場合もある)	
工事の予定	業者や大工さんに連絡しているか。または専属大工さんがいるか確認	
	連絡が取れている場合、工事着工時期を確認	
保険	火災保険に加入しているか確認	
	加入している場合、保健会社に連絡しているか確認	
電気	電気が通っているか(使えるか)確認(使えない場合、発電機の用意が必要)	
水道	水が使えるか確認(清掃が必要な場合に利用)	
活動場所	住所と活動する場所(居間、玄関など)の確認	
活動日時	特に対応が難しい日程を聞く(平日仕事のため対応不可など)	
対応窓口と連絡先	居住者との関係(本人、娘/息子、孫など)と連絡先を聞く	
駐車場	駐車スペースの有無を確認。有りの場合、何台までおけるか確認	
トイレ	コロナ禍のため基本は借りない。万が一の場合に借りられるか確認	
県外ボランティアに対する不安	PCR検査等を済ませて伺いますが不安があれば聞く	
その他	項目にないこと、どこに書いたらよいかわからないことを記入	